

2002 年度(平成 14 年度)

事業報告書

自 2002 年 4 月 1 日

至 2003 年 3 月 31 日

社団法人 企業メセナ協議会

1. 啓発・普及事業 (5,036千円)

1.1 セミナー、シンポジウム (2,018千円)

開催日	会場	テーマ・内容	参加者
2002年 5月23日(木)	凸版印刷 印刷博物館 トッパンホール	■フィールド視察 「印刷博物館&トッパンホール」	会員 19名
6月28日(金)	アサヒビール 本社周辺	■フィールド視察 「アサヒ・アート・フェスティバル2002」	会員 8名
7月11日(木)	資生堂別館	■公開セミナー「メセナの税制について知ろう! 寄付税制の基礎知識～」 講師: 田中敬文氏 (東京学芸大学助教授)	会員及 び一般 75名
7月26日(金) // 27日(土) <1泊2日>	湘南国際村 センター	■葉山フォーラム2002 「明日のメセナを考える～メセナのインフラ整備をどうすすめるか～」 第1日 ○テーマ討論① 「文化芸術振興基本法と企業メセナ」 ゲスト: 後藤和子氏 (埼玉大学助教授) ○テーマ討論② 「共同メセナ、パートナーファンドを考える」 ゲスト: 森 司氏 (水戸芸術館学芸員) ○特別講演 「企業の文化価値を求めて」 講師: 福地茂雄氏 (アサヒビール会長) ○パネルディスカッション 「社会を活性化させる文化の価値とは?」 パネリスト 北川フラム氏 (アートディレクター) 福原義春会長・理事長 後藤和子氏 司会 加藤種男研究部会長 ○交流会 第2日 ○特別講演 「メセナ -与えたものと得たもの-」 講師: 水谷千加古氏 (INAX トステム・ホールディングス社長) ○全体会議「メセナ 直言・提言」	会員及 び一般 32名

開催日	会場	テーマ・内容	参加者
11月13日(水)	東京・有楽町 日本外国 特派員協会	「本年度のメセナ活動実態調査結果を 読み解く」 講師：岡部修二調査部会長（トヨタ自動車） 太下義之氏（UFJ総合研究所）	会員及 び一般 23名
12月6日(金)	資生堂別館	「初歩から学ぼう 芸術助成制度」 講師：伊藤裕夫氏（静岡文化芸術大学教授） コメンテーター：市村作知雄氏（アートネットワーク ・ジャパン代表） 奥秋清治氏（税理士）	会員及 び一般 66名
2003年 2月4日(火)	資生堂別館	「メセナのマネジメントー英国のアート・マ ーケティングから得るヒント」 講師：Heather Maitland氏（英国・フリー ランス アートコンサルタント） 河島伸子氏（同志社大学助教授）	会員 25名
2月17日(月)	大阪 大日本印刷 堂島アクシスビル	シンポジウム 「文化で元気になろう！関西から」 ①講演「ザ・シンフォニーホールの20年」 講師：鈴木貞夫氏（朝日放送） ②パネルディスカッション「文化で地域・ 経済を元気にする」 パネリスト：中川幾郎氏（帝塚山大学教授） 林 利治氏（林庄社長） 弘本由香里氏（大阪ガス エネル ギー・文化研究所） 松本耕司氏（松下電器） 司会：加藤恒夫氏（大賞部会長・大日本印刷）	会員及 び一般 80名

なお、本年度から企業メセナの実務担当者による「若手ネットワーク」の勉強会を開始しました。

開催日	会場	テーマ・内容	参加者
6月25日(火)	トヨタ自動 車東京本社	■第1回分科会 「アートの現場が企業に望むこと、 企業がアートの現場に望むこと」	会員 31名
9月20日(金)	TOA 本社 (神戸)	■第2回分科会 「経営資源を活用したメセナ： 非資金支援のススメ」	会員 21名

開催日	会場	テーマ・内容	参加者
2003年 1月31日(金)	有楽町マリ オン14F	■第3回分科会 「ゼロから知るメセナ」	会員 15名

1.2 全国メセナ組織との交流 (413 千円)

全国メセナネットワーク（加盟 15 団体）の第 7 回全国会議が 9 月 13 日（金）・14 日（土）、新潟市にてネットワーク加盟団体関係者、各地の自治体および地元関係者など約 70 名の参加のもとに、麒麟ビール、トヨタ自動車、松下電器の協賛を得て開催されました。

なお、当協議会からは出口専務理事および事務局員 3 名が出席しました。

※今回より回数表示は旧・全国メセナ連絡会議からの通算に改められました。

9月13日 (金)	<p>○基調講演「文化芸術振興基本法と地域文化」 講師 根木 昭氏（長岡技術科学大学教授）</p> <p>○パネルディスカッション 「地域文化をどう活性化するか」 パネリスト 石塚絹代氏（佐渡・さっこり HOUSE 三宮代表） 竹石松次氏（新潟放送取締役メディア事業局長） 根木 昭氏（長岡技術科学大学教授） 司会 出口正之・企業メセナ協議会専務理事</p> <p>○情報交流会</p>
9月14日 (土)	<p>○総会</p> <p>○特別講演「文化のまちづくり」 講師：櫻井俊幸氏（新潟県・小出郷文化会館館長）</p> <p>○加盟団体活動事例報告</p> <p>○意見交換会</p>

2. 情報集配・仲介事業 (35,331 千円)

2.1 情報紙の発行(6,720 千円)

ニューズレター『メセナ note』19号～24号を次の内容で発行しました。

号	解説・論説	トップインタビュー	いまどきのアート	フォーラムほか
19 5/15 発行	「『芸術立国』は可能か」 劇作家・演出家 平田オリザ氏	「メセナも『弁証法的発展』を」 企業メセナ協議会 中江利忠副会長	「ランデヴープロジェクト」 日本デザインセンター情報デザイン研究所 柴牟田伸子氏	「[観客]の発見 [観客]の読解」 ミュージアム・マガジン・ドーム編集長 山本育夫氏
20 7/15 発行	「経済のうつ病は文化で治す」 文化庁長官 河合隼雄氏	「社内に創造的なく風を」 企業メセナ協議会 佐治信忠副会長	「現代音楽する若者たちの風景」 朝日新聞社文化部記者 吉田純子氏	「NPO法人『芸術家と子どもたち』が進めるエイジアプロジェクト」 千葉大学助教授 藤川大祐氏
21 9/15 発行	「2DK [独創・独自・継続]がメセナの基本」 INAX トステム・ホールディングス社長 水谷千加古氏	「メセナへの共感が企業の信頼を築く」 アサヒビール会長 福地茂雄氏	「アジアを愛する心の出会い」 日韓・日中韓 PAC2002 実行委員会委員長 山崎靖明氏	「芸術活動の起業を支えるインターメディアリー機関の充実を」 ニッセイ基礎研究所 主任研究員 吉本光宏氏
22 11/15 発行	「芸術を支援することの逆説」 文芸評論家 三浦雅士氏	「文化行政に大胆なく構造改革を！」 企業メセナ協議会 鶴田卓彦副会長	「メセナ大賞2002」 受賞活動の紹介	「文化の灯は消えることなく」 扇町ミュージアムスクエア マネジャー 山納洋氏 ■増ページ 「メセナリポート2002」 (メセナ活動実態調査報告)
23 1/15 発行	「創造力を生み出すもの」 作家・メセナ大賞審査委員 中沢けい氏	「音楽界の歴史を刻んだ20年」 朝日放送会長・企業メセナ協議会理事 柴田俊治氏	「自発的なアートとは一人と場所が生み出すもの」 東京藝術大学・大学美術館 野口玲一氏	「アート」「マネジメント」「教育」 世田谷パブリックシアター 制作課長 高萩 宏氏
24 3/15 発行	「映画の人材育成について」 映画評論家 佐藤忠男氏	「高山から『平成の文化』の発信を」 メセナ大賞2002 メセナ note 読者賞 受賞企業 飛騨庭石社長 中田金太氏	「ダンスをつくるの現在形」 -STスポット『ラボ20』 という方法」 美学・ダンス批評家 武藤大祐氏	(研究会リポート) 「職業としてのメセナ」 松下電器 社会文化グループ参事 佐藤文昭氏

2.2 情報システムの活用 (4,932 千円)

アートサポートに関するデータベース「メセナビ」の検索システムを大幅に改善するとともにデザインも全面的にリニューアルし、本年度の「メセナ活動実態調査」及び昨年度の文化庁委嘱事業「民間財団、公的財団の文化芸術振興策に関する基礎調査」のデータを掲載しました。

2.3 資料収集 (1,229 千円)

メセナ及び文化・芸術関連情報を収集するため、専門書籍・関連資料の購入、関連学会・シンポジウム等への出席、さまざまなアートイベントへの参加等の活動を行いました。

2.4 出版 (6,667 千円)

(1) 『メセナ白書』の新シリーズ第1弾として、調査部会の協力を得て次の書籍を2003年3月13日(金)に刊行しました。

○タイトル：『メセナマネジメントー戦略的社会貢献のすすめー』

○編著： 企業メセナ協議会

○発行元： ダイヤモンド社

○体裁： A5版 268ページ

○定価： 本体価格2000円

○発行部数 3500部

○概要

(敬称略)

はじめに		福原義春会長・理事長
序章	1. 「社会の文化化」、「文化の社会化」と企業メセナ	岡部修二調査部会長
	2. メセナマネジメントの時代	
第1章	メセナマネジメント現場レポート TOA、第一生命、リクルート、カスミ、秋村組 ダイムラー・クライスラー、資生堂、フォンテーヌ、 今井書店、六花亭、光文シエラザード文化財団	
第2章	[特集] 「メセナマネジメント」分析調査	
第3章	「メセナマネジメント」テーマ研究 1. 「企業メセナとアーツ・マーケティング」 2. 「陰徳の美から称賛する社会への改革をめざして」 3. 「企業経営としてのメセナ」 4. 「日本型メセナで育成された人材の生かし方」	河島伸子・同志社大学助教授 水尾順一・駿河台大学教授 太下義之 (UFJ総合研究所) 出口正之専務理事
第4章	2002年度「メセナ活動実態調査」	
付録	役立つメセナ情報源ほか	

(2) 本年度から、協議会主催セミナーの講演記録などを小冊子「メセナ・セミナーシリーズ」としてまとめ、次の3号を発行しました。

No.1「芸術立国は可能か？」

No.2「メセナの税制について—寄付税制の基礎知識—」

No.3「若手登竜門としてのアーティスト支援を考える」

2.5 コーディネート事業 (8,048 千円)

会員企業からの要請を受けて、次のコーディネート事業を実施しました。

企業・団体名	業 務 内 容
トヨタ自動車	トヨタ・アートマネジメント講座企画・運営(7カ所)
アサヒビール	アサヒ・アート・コラボレーションの企画・制作

3. 調査研究事業 (10,555 千円)

3.1 「メセナ活動実態調査」の実施 (3,505 千円)

本年度の企業メセナ実態調査は、調査部会の協力のもとに4月～5月、3,980社を対象に実施し、602社から回答を得ました。

このうち2001年度にメセナを実施した企業は375社で総活動件数は2,359件、1社平均6.3件でした。

3年連続で金額回答のあった企業(122社)の場合、合計金額は124億9,468万円で前年度実績(125億4,845万円)に比べ若干の減少にとどまりました。

なお、本調査の結果については『メセナnote22号』の別冊、「メセナレポート2002」で紹介するとともに、11月13日(水)に有楽町・日本外国特派員協会において記者発表会を実施しました。

[2002年度調査部会]

岡部修二氏(トヨタ自動車) ※部会長

大井屋健治氏(朝日新聞社) 佐川忠市氏(大阪ガス)

嶋田実名子氏(花王) 中島康夫氏(電通)

深町政則氏(損保ジャパン)

3.2 研究活動 (244 千円)

研究部会を開催するとともに、企業メセナに関連する研究会を下記のとおり開催しました。

開催日	会場	テーマ・内容	参加者
2002年 4月15日(月)	アサヒビール 本社	「教育や福祉の領域におけるアートの実践」 ゲスト：堤 康彦氏 (NPO 法人『芸術家とこどもたち』代表) 野村 誠氏(作曲家) 辻 政博氏(小学校教諭)	会員 19名
10月11日(金)	資生堂別館	「若手登竜門としてのアーティスト支援を 考える」 ゲスト：長沢 潔氏(キャノン) 菅沼比呂志氏(リクルート) 前田恭二氏(読売新聞記者) ※上記に先立ち、9月18日(水)にキャノン 「写真新世紀展」、10月11日(金)にリクルート 「ひとつぼ展」の見学会を実施しました。	会員 11名
11月25日(月)	NEC本社	メセナの評価① 「NECの社会貢献活動とプログラム評価」 ゲスト：鈴木 均氏(NEC)	会員 24名
12月11日(水)	資生堂別館	メセナの評価② 「アートサポートの成果をどうとらえるか」 ゲスト：片山正夫氏(セゾン文化財団)	会員 23名

[2002年度研究部会]

加藤種男氏(アサヒビール芸術文化財団) ※部会長

市村作知雄氏(アートネットワーク・ジャパン) 片山正夫氏(セゾン文化財団)

勝山淳一郎氏(竹中工務店) 佐藤正明氏(ソニー)

島田京子氏(日産自動車) 森 信之氏(松下電器)

3.3 委託調査 (1,453千円)

外務省文化交流部の委託を受け、「文化事業実施を助成する団体の助成内容に関する調査」をニッセイ基礎研究所と共同で実施しました。

4. 顕彰事業 (14,583千円)

4.1 メセナ大賞 (10,850千円)

(1)「メセナ大賞2002」には85社・団体から103件の応募があり、大賞部会の協力を得てこれらの調査・取材を行い、9月19日(木)開催の審査委

員会にはかり、次の企業及び団体への授賞を決定しました。

なお、本件に関する記者発表会を10月1日(火)に東京商工会議所で実施し、本賞の贈呈式を11月29日(金)、東京・青山のスパイラルホールにおいて開催しました。

- メセナ大賞 朝日放送株式会社 ザ・シンフォニーホールの運営と事業活動
- 企業文化賞 鹿島建設株式会社 「KAJIMA 彫刻コンクール」の実施
- 企画賞 キリンビール株式会社 「キリンダンスサポート」創設に結びついた体系的な現代舞踊支援
- 情報発信賞 東陶機器株式会社(TOTO) 「ギャラリー・間」の活動
- 奨励賞 凸版印刷株式会社 コンサートホール「トッパンホール」の運営
- 地域文化賞 株式会社飛騨庭石 祭屋台の制作および「飛騨高山まつりの森」の運営
- 育成賞 株式会社リクルート クリエイションギャラリーG8と
ガーディアン・ガーデンの運営

[2002年度審査委員]

- 池上 惇氏 (京都橘女子大学文化政策学部長) 池田逸子氏 (音楽評論家)
- 富永壮彦氏 (音楽評論家) 中沢けい氏 (作家)
- ピーター・バラカン氏 (ブロードキャスター)
- 平田オリザ氏 (劇作家・演出家) 福田美蘭氏 (画家)
- 本江邦夫氏 (多摩美術大学教授) 福原義春会長・理事長

[2002年度大賞部会]

- 加藤恒夫氏 (大日本印刷) ※部会長 石綿祐子氏 (電通)
- 大森一正氏 (日本生命) 高辻ひろみ氏 (資生堂) 西田克彦氏 (日本電気)
- 大和 滋氏 (芸団協) 横尾 優氏 (鹿島建設)

5. 国際交流事業 (819千円)

5.1 各国のメセナ組織との交流

2002年11月27日(水)にスウェーデンの企業メセナ協議会役員のハンス・レンストローム氏(AB VOLVO社)が来日され、情報交換を行いました。
なお、本年11月に開催予定であったメルボルンでの国際メセナネットワーク会議は、参加各国の都合により2003年8月に延期されました。

6. 助成事業(認定業務費 12,599 千円)

6.1 認定対象範囲の拡大

当協議会では、かねてから助成認定の基準緩和を文化庁（および財務省）に要望していましたが、本年度より次のような拡大措置がとられました。

部分が拡大範囲

	従来の範囲	改定後の範囲
分野	音楽、舞踊、演劇、美術、映画	音楽、舞踊、演劇、美術、映画、 メディア芸術、文学、芸能、生活芸術
活動主体	プロの芸術家・団体	①プロの芸術家・団体 ②アマチュアのうちプロ並みの芸術活動 を行う芸術団体・個人 ③将来プロとなる素質を持つ個人
活動形態	公演、展示	①公演、展示 ②公演、展示をともなう顕彰事業、 調査・研究、セミナー、ワークショップ等

上記の拡大にともない従来の選考基準の見直し、制度案内資料の改訂等の作業を進め、2002年8月20日の申請締め切り分から新基準による受付を開始しました。また、これに先立ち、7月24日(水)、東京商工会議所において記者発表会を実施しました。

6.2 申請受付条件等の改定

また、事務局では、本制度がより利用しやすいものになるよう、申請受付条件等も再検討し、2003年度から下記のように改定することにしました。

改定事項	改定前	改定後
1) 「申請用紙」の 入手方法	「申請用紙」入手のため に、企画書・予算書の事 前提出を義務付け	企画書・予算書の事前提出を取り やめ、「申請用紙」の入手を 容易にする。
2) 寄付金額下限の 設定	企業メセナ協議会経由で 寄付できる寄付金額の下 限は次のとおりとする。 法人：10万円 個人：5万円	寄付金額の下限を引き下げ、 法人：5万円 個人：1万円 とする。
3) 企業の「支援内諾書」 の提出	申請時に、支援企業から の「支援内諾書」を提出 助成要請額の10%以上の 支援内諾を取り付けるこ とが申請の条件	「支援内諾書」を廃止し、申請 者が内諾企業を自己申告する 欄を申請書に設ける。 左記の支援内諾の条件を廃止 する

(参考)助成認定制度利用状況

年 度	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
申請件数	103	92	125	121	121	172	176	151	155
認定件数	83	80	109	115	111	155	165	146	153
寄付件数	159	430	661	769	697	752	879	949	835
金額(万円)	19,705	31,102	55,590	86,555	44,281	51,566	53,305	57,361	47,679
1件当たり(万円)	123	72	84	113	64	68	60	60	57

7. 委嘱事業 (20,358千円)

7.1 助成認定制度研修会の実施

広く全国各地の文化・芸術関係者あるいは企業に、助成認定制度の利用促進をはかるためには、何らかの仕組みづくりが必要であるとの考えから、文化庁と協議の上、各地の芸術文化振興財団、メセナ団体等の協力のもとに「地域相談窓口」を開設することになり、関連機関の職員を対象に下記の研修会を実施しました。

(1) 開催目的

- ①各地の文化関連機関の職員に、本制度の内容、相談への対応要領等について習得していただく。
- ②この機会に、参加者に対して企業メセナの最新情報を提供し、アートマネジメントに関連する知識の研鑽をはかっていただく。
- ③参加者から地域文化の振興に関する意見や提言を聴取し、今後の文化行政や企業メセナ協議会活動への反映をはかる。

(2) 開催要領

- ①主催：社団法人企業メセナ協議会
- ②共催：文化庁
- ③日程：平成15年3月12日(水)～14日(金) [2泊3日]
- ④会場：ホテル日航大阪
- ⑤対象：各都道府県・政令指定都市文化振興財団、メセナ団体等の職員
(参加者：41団体・53名)

(3) 研修内容

(敬称略)

3月12日(水)	3月13日(木)	3月14日(金)
開講挨拶& オリエンテーション	メセナ活動事例① 田中典子 (松下電器 社会文化グループ主任)	メセナ活動事例② 政木和也 (林原共済会事務長)
特別講演 諸井誠 (彩の国さいたま芸術劇場館長)	アートマネジメント事例 中里也寸志(神奈川芸術文化財団)	講演 寺脇研 (文化庁文化部長)
メセナ概論① 出口正之 (企業メセナ協議会専務理事)	寄付税制概論 田中敬文 (東京学芸大学助教授)	総合グループ討議
メセナ概論② 岡部修二 (企業メセナ協議会調査部会長・ トヨタ自動車広報部担当部長)	講演 福原義春 (企業メセナ協議会会長・理事長)	修了証・窓口表示プレートの 授与 閉講挨拶
交流会	助成認定制度の解説、質疑応答 (協議会事務局)	

8. その他

8.1 広報活動

- (1) 広報活動の強化に努め、記者発表会の開催(東京3回、大阪1回)のほかに、プレスリリースの発行(7回)、東京・大阪の媒体記者への訪問活動などを推進しました。
- (2) 英文のプレスリリースを作成し、海外のメセナ協議会等に配信しました。

8.2 会議・部会等の開催状況

理事会	3回	大賞部会	5回
理事・評議員合同会議	1回	研究部会	4回
通常総会	2回	記者発表会	4回
幹事会	7回	助成選考委員会	6回
調査部会	4回	大賞審査会	1回

8.3 協力依頼受付状況

講演・出演	6件
執筆	3件
後援・協力名義	8件
委員等への就任	5件

以上